

袋津小学校のすばらしい成果

1962年の11月28日、袋津小学校は半年間の指導経過を世に発表しました。この会に、わたしは東大の宇野精一博士とともに招かれて、その成果を見てきました。それは、わたしの得たどの成果よりもはるかにすばらしいものでした。

たとえば、一年の山田学級では、学級の平均習得字数が、その年の11月までで280字に達しています。これは、文部省の一年間の目標字数の七、八倍にあたります。なお、最高は410字、最低は125字です。つまり、山田学級の最低の子が、文部省の最高目標の三倍近い漢字を逆に半分の期間に覚えてしまったということになります。まったく驚くべき成果というよりほかはありません。

二年の石塚学級では、最高430字、最低130字で、学級平均習得字数335字でした。これも、わたしには想像もできなかったすばらしい成果だと思いました。二年から始めたという悪い条件でも、ここまでいくということを示してくれた点で、貴重な実績だと思います。